

# モニターのケーシング設置

## 設置する際のご注意

### お客様へ

ケーシングの設置には、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な設置を行ってください。



### 警告

安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 販売店様・特約店様へ

ケーシングの設置には特別な技術が必要ですので、設置の際には本書をよくご覧のうえ、作業を行ってください。設置不備や取り扱い不備、対応モデル以外でのご使用による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお本書は設置作業後にお客様にお渡しください。



### 危険



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下・破裂などにより死亡や大けがの原因となります。

### モニターの通風孔をふさがない

設置の際、通風孔をテープなどでふさいでしまうと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

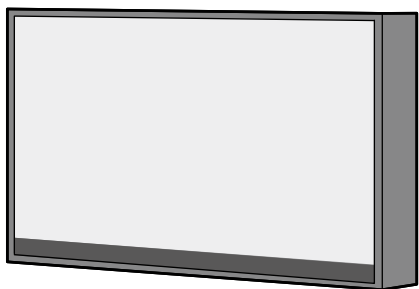
# 対象モデル

本書では以下のモニターのカースキングの設置について記載しています。

FW-98BZ53L/98BZ50L/85BZ40L/75BZ40L/65BZ40L/55BZ40L/65BZ35L/55BZ35L/85BZ30L/75BZ30L/  
65BZ30L/55BZ30L/50BZ30L/43BZ30L

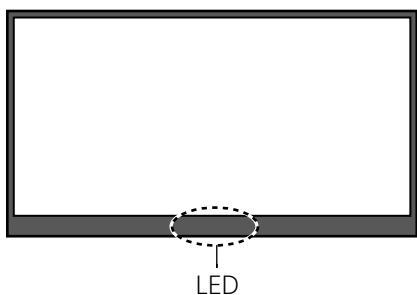
# 設置について

## カースキング設置イメージ

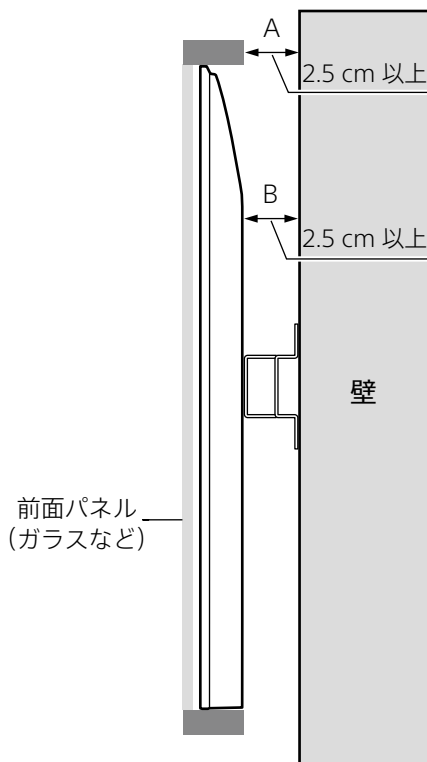
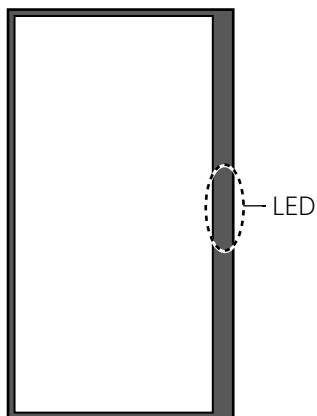


カースキングから壁までの距離(A)およびモニターから壁までの距離(B)の寸法基準を守って設置してください。

## 横置の場合

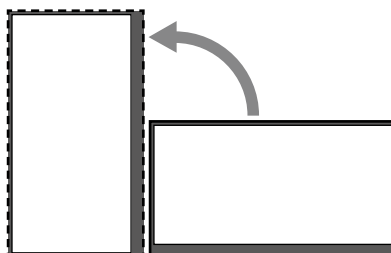


## 縦置の場合



## ご注意

縦置で設置する場合は、横置の状態から反時計回りに90度回転させた状態で設置してください。  
時計回りに回転させて設置するのはおやめください。



# 設置条件など

- 周囲およびケーシング内の温度は、0℃から下記環境温度の範囲内に保ってください。
- 壁掛け時は、横置・縦置のどちらも傾きのない状態をご利用ください(前傾角度0°)。
- ケーシングから壁までは、2.5 cm以上の距離を確保してください。
- モニターの背面から壁までは、2.5 cm以上の距離を確保してください。
- 一部のモデルでは、ケーシングとモニターの間に5 mm以上の隙間を空けてください(下記参照)。
- ケーシング筐体の荷重がモニターにかからないように注意し、ケーシングが脱落しないようにしっかりと設置してください。

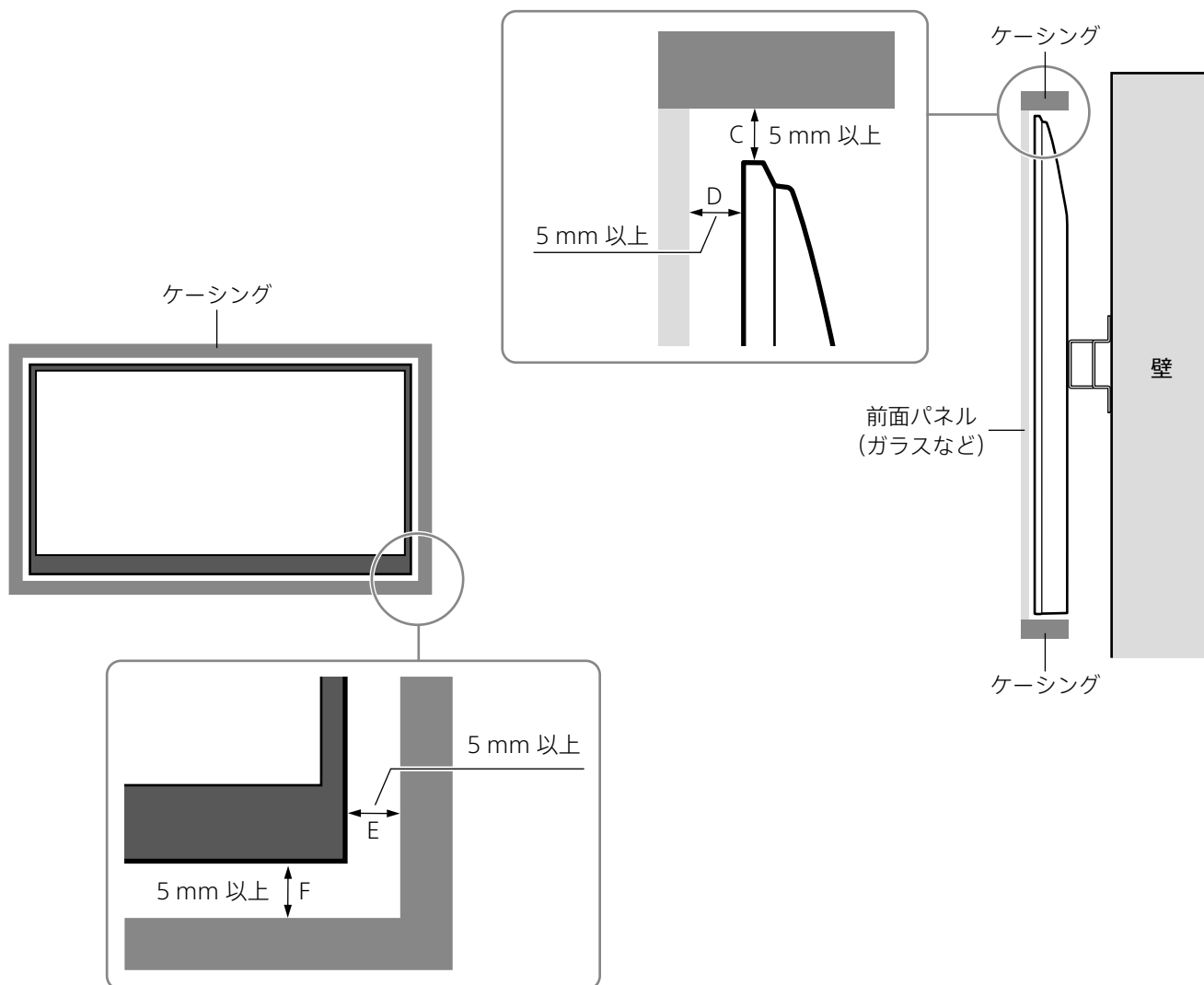
## 各モデルの詳細な設置条件

モデル名	設置の向き	環境温度	ケーシングとモニターの隙間
FW-98BZ53L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	40℃以下	0 mm
FW-98BZ50L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	40℃以下	0 mm
FW-85BZ40L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	40℃以下	0 mm
FW-75BZ40L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	36℃以下	0 mm
FW-65BZ40L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	40℃以下	0 mm
FW-55BZ40L	横置	38℃以下	0 mm
	縦置	35℃以下	0 mm
FW-65BZ35L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	36℃以下	0 mm
FW-55BZ35L	横置	38℃以下	0 mm
	縦置	35℃以下	0 mm
FW-85BZ30L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	40℃以下	0 mm
FW-75BZ30L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	36℃以下	0 mm
FW-65BZ30L	横置	40℃以下	0 mm
	縦置	36℃以下	0 mm
FW-55BZ30L	横置	38℃以下	0 mm
	縦置	35℃以下	0 mm
FW-50BZ30L	横置	37℃以下	0 mm
	縦置	36℃以下	0 mm
FW-43BZ30L	横置	36℃以下	0 mm
	縦置	36℃以下	0 mm

## ケーシングとモニター間の隙間について

モデルによってはケーシングとモニターの間に隙間が必要になります。対象モデルは「各モデルの詳細な設置条件」(3ページ)をご確認ください。

モニターの上部(C)、前面(D)、横(E)、下部(F)の寸法基準を守って設置してください。



## 使用上のご注意／その他

- モニターを壁にかけて設置した場合、一部の端子の利用が制限されることがあります。
- LEDの周辺をケーシングでふさいでしまうと動作状況がわからなくなったり、リモコンが動作しなくなることがあります。
- ケーシングを設置する場合は、必ず ⚙️(設定)メニューで明るさセンサーをOFFにしてください。
- 運搬の際は、縦向きに持つとモニターが落下する危険がありますので、横向きで持ってください。また、モニターに無理な力を加えると変形するおそれがありますのでご注意ください。
- ケーシング筐体とモニターの干渉によって、ビリつき音が発生する場合があります。